

サポート通信



14グループのまちづくり活動に助成を決定！ 普請部門は1グループが二次審査へ！

ミュージカル、映像分野からの新たなアプローチ



2017年7月1日(土)、第17回千代田まちづくりサポート公開審査会が九段生涯学習館5階音楽視聴覚室で開催された。

「一般部門」に17グループ、「はじめて部門」に2グループ、「普請部門」には2グループの応募があり、昨年を超える21グループの応募があった。テーマ部門については、テーマ設定者をWEB上で募集したが、応募はなかった。

今回の応募グループの特徴として、映画祭やアーカイブなど、映像を取り扱うグループが増えたことや、初めて大丸有エリアから劇場が集積するエリアならではの活動を行なうグループの応募があったことなどが挙げられる。これらの活動は、勉強会や情報発信にとどまらず、千代田区の文化芸術の認知と価値を高め、シビックプライド(都市に対する誇りや愛着)の醸成にも貢献してくれるだろう。

普請部門は、秋葉原に立地する旧旅館の建造物を地域のコミュニティ拠点として改修する提案などがあった。二次審査へ進むグループは、もともとボランティアグループとして活動しており、そこで培ったノウハウを活用し、千代田区ではブランド化している「猫」をテーマに子供から大人まで楽しめる集いの場を設けることを目標としている。二次審査での提案発表が今から楽しみである。

運営面は、昨年に引き続き、事業協働契約先の「千代田まちづくりプラットフォーム(略称:まちプラ)」と会場設営・司会進行など、運営を協働で行った。幅広く千代田まちづくりサポート事業に関わってきた、まちプラだけに安心して運営を任せることができた。今後は、助成グループのみならず、提案が採択されなかったグループのフォローアップに期待したい。

今回は、一次審査及び二次審査を経て、14グループの活動に対して総額420万円の助成を決定した。応募グループ数・申請額も多く、助成を決定する過程での審査会委員への負担もかなり大きかった。しかし、その反面、これだけのグループが千代田のまちづくりに関する提案してきたことは、千代田区における市民力の高さを改めて感じることができた。

今回助成を受けた各グループは、11月19日(日)の中間発表会に向けて、さまざまな活動を進めていく。

目次

【第17回助成申請グループ(発表順)】

【一般部門】

(3回目)

東京神田神保町映画祭実行委員会

2

(2回目)

文人通りギャラリーカフェ

2

グリーンネイバーフッド千代田を目指す会

2

神田プロレス

3

神田を面白がる会

3

PCN秋葉原 ASSEMBLAGE

3

(1回目)

オクトパシー

4

PC街歩きサロン 企画委員会

4

一般社団法人神田をワインの街にしようの会

4

街角ライブ振興会

5

地域のキーパーソン可視化プロジェクトチーム

5

共立女子大学 神保町周辺活性化デザインチーム

5

ちよだロケーションサービスをつくる会

6

フラワーサークル 2000

6

THEATRE CONCIERGE

6

一般社団法人協働プラットフォーム

7

KANDA MUSEUM

7

【はじめて部門】(※書類選考)

ちよとも

7

三崎町 SMILE プロジェクト

8

【普請部門】(一時審査)

秋葉原・旧旅館【東館】内ちよだニャンとなるCafé

8

NET-STAY KIT-THE Za

8

審査会委員講評・総評

9~10

第17回千代田区まちづくりサポート審査表

12

賛助会員一覧

12

審査会委員 紹介

会長 なかしま なおと
中島 直人
東京大学大学院工学系研究科 准教授・工学博士

副会長 おくむら げん
奥村 玄
株式会社GENプランニング 代表取締役

委員 かたおか しょうご
片岡 勝吾
麹町五丁目町会 副会長

委員 ごとう よしひさ
後藤 禎久
市井人・斎藤月琴に学ぶ会 会長

委員 あさひな
朝比奈 ゆり
東京ボランティア・市民活動センター

委員 ほった あきのぶ
堀田 昭信
興産信用金庫 お客様支援部 副部長

委員 おかわ くみこ
小川 久美子
千代田区 地域振興部 参事・コミュニティ総務課長

編集・発行：公益財団法人 まちみらい千代田 まちづくり推進担当

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクウェア4F TEL.03-3233-7556 FAX.03-3233-7557

https://www.mm-chiyoda.or.jp E-mail machisapo@mm-chiyoda.or.jp

1

ミニシアターの街・神保町から「映画文化振興」と地域活性化を目指した映画祭を行う (東京神田神保町映画祭実行委員会) (一般部門・3回目)



3回目の申請で、今までの活動を振り返る。2014年にスタートし、初期メンバーは神保町のボランティア仲間5名で、東京電機大学跡地にて上映会を行った。好評を得て、2015年に第15回まちサポに応募、5万円の助成を受け、第1回神保町映画祭を開催。コンペティションの応募作品も多く500名余りの観客を集めた。

2016年に、第16回まちサポに応募して希望の満額を助成して頂き、第2回神保町映画祭を専用劇場の神保町シアターで開催できた。受賞作の上映は絶賛された。

今年はコンペティションも3回目を迎え、まちサポ助成対象の最後の年。会員規約や定款など、組織を固めてパワーアップして改名、11月に第3回東京神田神保町映画祭として、千代田区社会福祉協議会の後援も決定。さらに広いエリアにアピールし、協力団体や企

業にも働きかける。「東京」という言葉を入れると、インターネットでの検索にも強い。

今年は審査方法も、まちのひと審査会に加え、学生による審査会、専門家の特別審査会の3本柱で行う。課題としては、さらに集客数を上げ、運営資金の調達、宣伝のスタッフの充実と定着、地域への還元を進めること。

Q: 地域の人の参加や反応はどうか?

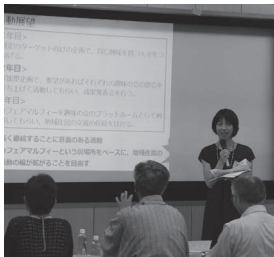
A: 高齢者の映画サロンで高齢者参加の審査会などまちの人の審査を強化。口コミで在勤者中心の審査会もあり、さらに交流も図りたい。

Q: 来年、助成終了後の資金調達の計画や工夫はあるか? そのメドは立ったか?

A: ホームページの広告料を得るためにもリニューアルをデザイナーに依頼。広くスポンサーを得るため、「東京神田」という名称を会名に入れ、企業対応のITスタッフも揃えた。

2

番町麹町地域の人々のための「居場所」作りの会 (文人通りギャラリーカフェ) (一般部門・2回目)



昨年は一般部門で応募。助成を受けて交流の場の少ない地域の人々の居場所作りをしてきた。月1回、8月から3月まで計8回の会を開催。基本的には、まちの歴史を知ること。共通の興味に沿うようなテーマで講師を選び、聴講後には交流会を持った。

今年もギャラリーカフェの会として文人通りの中央にあるカフェ・アマルフィで活動したい。昨年は受身型だったが、いずれ参加型にし、参加者の中からテーマにより講師を選ぶ。毎回1つのテーマを完結し終了後にお茶とお菓子を頂きながら交流する。

毎月、日曜日の午後、同じ場所で行うことで安心感も生まれ、信頼されて定着するのではないと思う。会費はお茶代を入れて800円。男性向けの料理教室、子供と一緒にのお絵かき教室、英語の俳句会などで、子供と保護者、男性の参加も促したい。

住民は高齢化し、新住民はマンションに住む若い世代。近所同士が挨拶できる関係を築く重要性を感じた。今後、長寿社会で退職後の活動や子育て世代の支援、震災時に助け合う必要もあると考えている。

Q: 神田地域にはあまり知られていない。今後、活動をどう知らせていくのか?

A: 千代田区報に載せて頂いた。交流会のお知らせやポスターも30枚作り、貼らせてもらった。口コミで知った人などで参加者は延べ170人程になった。

Q: 参加者に地域の人ほどの位いるのか?

A: 大半が地域の人。リピーターに在勤者も神田の人もいる。近所の人で同じ趣味を持つ人は集まりやすい。テーマを増やして広げ、来年は参加者全員に発表をしてもらう。

Q: 活動を日常的にもアピールしてほしい。

A: 会場のカフェの前に常時看板を設置する。

3

いろいろな人たちが混じって参加するグリーンなまちづくり (グリーンネイバーフッド千代田を目指す会) (一般部門・2回目)



昨年度、助成を受け、ちよだのWEBメディア「Chee's」をオープン。都心なのに緑の多い千代田の魅力を活かして「ネイチャーウォーク」を開催。信号やエスカレーターなどのまちの課題も発見した。「環境まちづくりダイアログ」では議論の蓄積もできた。

「Chee's」では、居心地のいい場所を探すために神保町や新宿区、中央区との区界、北町奉行所跡などを探検し、地図とWEBデザインで千代田の魅力を発信する。新企画の「いい人インタビュー」で、海老原商店の海老原さん取材。上智大学ともコラボして活動し、さらに読者を増やしたい。

「ネイチャーウォーク」では、日比谷公園で自然観察会、その周辺でのブラインドテニスの体験会。カヌー(ヴァー部門)でパラリンピック代表候補の諏訪選手と連携し、船でカヌー会場の海の森や

葛西臨海公園をサポートが必要な人たちと一緒に巡る。それらを踏まえ、「ダイアログ」で、まちづくりの提案と実行をしてまちに変化をもたらす。

Q: 講師の謝礼が4万円という予算は、高額だが、何か理由があるのか?

A: 障害のある方に自然を五感で感じてもらうために、ブラインドタッチができる模型を作ってもらう費用も入るので。

Q: 地域の人々がどれだけ見てくれるのか?

A: 「Chee's」の閲覧数を上げ、まちに出て、千代田を見てもらう。イベント参加者数が大事。「ダイアログ」の提案を取り入れてもらいたい。

Q: まちの課題はどんなことだと思うか?

A: まちの信号や看板、エスカレーターなどが障害のある方には大変だと思う。

4 ご当地プロレスが地域と子どもたちに元気を！ (神田プロレス) (一般部門・2回目)



昨年、初めてまちサポを利用させて頂き、神田明神でのプロレス・イベントを開催。親子連れを中心とする沢山の方にご来場頂けた。2年目の今回は、より多くの地域の方や自治体、企業などにも活動内容を知って頂き、『神田プロレス&子どもフェスタ』を開催する場を1つでも多く増やしていきたい。その意味でも、神田明神で開催できたことは大きく、広くアピールすることになったので感謝しています。

今年も10月には、神田スポーツ祭会場(小川広場)にて開催予定だが、これは、まちサポの助成金は使わないでもできる。まちサポの助成金は3月末のさくら祭りに合わせて、神田明神奉納プロレス&子どもフェスタ開催に充てる。いずれもボランティアとして、入場料無料と子供向けであることは大切にしたい。

ちびっこプロレス教室、音楽やスポーツ体験などと併せて読み聞

かせやお話し会なども、リングをステージとして行っていく。

まちサポのおかげで学校関係者の方にも見て頂き、今年は課外授業の引率者としてもお話があった。イベント内容の向上を図り、年間の開催数を増やしてさらに自治体、商店会とも連携し、町おこしも頑張りたいと思う。

Q: 昨年始めて、かなり成功したと思うが、課題は継続すること。頑張ってもらいたい。

A: まちサポを卒業しても継続できるようにもっとアピールして、成功させたい。

Q: 他の自治体に売り込むことは? 展望は?

A: まずは千代田区の町会のイベントで着実に活動して、広めていくつもりだ。

5 神田エリアを面白がりながら、まちの課題解決へと繋げる (神田を面白がる会) (一般部門・2回目)



昨年、「内神田を面白がる会」として助成を受け、町会の皆さんにご紹介頂いたこともありがたい。今年は「神田を面白がる会」と改名し、さらに活動のエリア、ジャンル、ネットワークなどを拡大して新しく発足。足りないと言われた「神田愛」をあふれる程に注いで、地域の課題解決と発展に寄与する決意。

2017年6月に、神田美土代町にキッチン付きレンタルスペース『MID STAND TOKYO』をオープン。そこを活動拠点に神田に関心のある人を集める。ホームパーティのような雰囲気を活かし、まちの課題や企画について話し合う。良い企画は実際に事業計画を立案し、実践、実現する。

ほぼ毎月1回、6回のイベントを開催、唐品知浩氏を招き、約30名の参加者を予定。これからのコミュニティ作りに取り組む。

具体的に、内神田の theC の地下1階で、ワークショップ形式でキッチンを使っただけのイベント開催。地元の住民、就労者、事業者が集まり、それぞれ役割を發揮する。

最終回では、「不動産を面白がる会」をやり、不動産ビジネスの経験を活かし、退去した物件をモデルに工夫をし、近くの店から頂いたシンクや台を磨いて設置した。

Q: これからは何をやるのか? 会が無い時は店舗を貸すのか? 運営は誰がやるのか?

A: 運営は私が行います。飲食業の許可も取ったがチャレンジする人を呼び込みたい。貸す場合もキッチンを活かし、オーナーと会員が交流できるようにする。会のステッカーも作った。

Q: 神田に、どうフィードバックするのか?

A: 神田地区の他の物件にも広げていきたい。飲食店の方々と知り合い、ほかにもつなげて、神田にどんどん広めていきたい。

6 ~ものづくりを通じた秋葉原電気街と千代田区の教育連携を目指して~千代田区を電子工作で盛りあげよう! (PCN 秋葉原 Assemblage) (一般部門・2回目)



メンバーは秋葉原界隈のプログラマーやエンジニア。電子部品街がピンチになり、活性化を目指しスタート。昨年は、まちサポの助成を受け、子供たちに電子工作とプログラミングで作成してもらったクリスマス用イルミネーション43作品を秋葉原の商店、地域団体の協力ですべて16か所に展示。大人10名、小学生32名うち女子は6割、今も通ってくれている。

2020年から小学校でのプログラミング教育の必修化を見据え、「読み書き、そろばん、プログラミング」を唱え、秋葉原から実現したい。

助成の2年目、区内の公立小中学校へ出向き、祭りや桜などの区の文化に密着したテーマで、電子工作・プログラミングを使ったおもちゃやオブジェの製作を目標とする。

今年度は活動を通して子供たちの千代田への愛着心を育てたい。神田技芸祭に大人も驚くお化け提灯やお化けロボを作ったり、山王祭に子供用からくり神輿で参加。音楽では秋祭りに、音のあるアートで参加する。

昨年のまち歩きを冊子にして、秋葉原を知る資料として子供たちに配布したい。

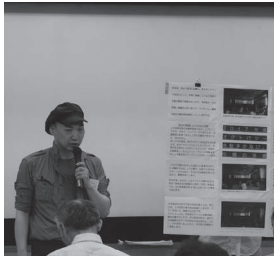
Q: 山王祭の「からくり神輿」とは?

A: ペットボトルで作った神輿の中にモニターやロボットを仕込む。モーターで動かし、光や音を出す、踊らせたり、山車にもできる。以前、神田明神でもやった経験がある。

Q: レクリエーション保険には入れるのか?

A: 子供がはんだごてなどを使うので入ろうとしたが、去年は直前に断られた。今年は、まちサポの力を借り、別の保険会社で再挑戦する。

7 世代を超えた町の風景映像のアーカイブ作りと、親子3世代で楽しめる、ファミリー向け映画の上映開催、及び、千代田区に関するフィルムの調査と発掘（オクトパシー）（一般部門・1回目）



昨年、「はじめて部門」で参加、限られた時間と資金の中で予想外の活動ができ、感謝している。課題も見付き、それをクリアし、今年はさらなる飛躍をして継続したい。マンパワーの不足などが活動が制限される要因。そこで、まちサポの助成グループなどと、イベントごとにさまざまにコラボレーションしてお互いに助け合いながら活動していくことにした。

クリスマスやひな祭りに講師を招き、児童向けのイベントも企画。昨年収集した50年以上前のカラーフィルムを中心に、障害者福祉センター高齢者サロン、児童館などで毎月2回以上の上映会を開催したい。昨年よりはフィルムの収集に力は注げなくなるが、それでも良しとして地域の活動に集中する。

千代田区が舞台の映画上映会では、関係者、有識者に講演を依頼、

在住、在勤、在学の方々に感想やご意見を伺う。ファミリー向け映画の上映会後は、家族で楽しみ触れ合うお手伝いをと考えている。皆様に支えられての活動なので、今後もよろしくお願ひしたい。

Q：千代田区にあった会社、団体の製作したフィルムの発掘活動の当てはあるのか？

A：既に権利者のいないネガフィルムの調査をしたい。『広報千代田』との連携も準備中。

Q：ぜひ、昨年できなかった上映会の実現をお願ひしたい。どういうものを集め、予定しているのか？

A：都立図書館は地域の映像を保存。多くの資料、リストもあるので調べたい。

8 『大規模マンションのコミュニティ形成』～住民が「住み心地良い居場所」だと感じられる「地域コミュニティ」形成の有力基盤となる同好会「街歩きサークル」の実践～（PC街歩きサロン企画委員会）（一般部門・1回目）



3年前に都内で最大規模のマンションが建ち多数の住民が生まれた。セキュリティは厳重、設備は最新式で立派。だが人の顔が見え難く温もりがない。コミュニティの育成を思案しマンションの知人5人で「PC街歩きサロン」をマンション理事会の承認・支援を受けてスタートした。10月に説明会を開催し、28名が参加した。11月～今年6月まで協力者の建築家の案内で6回の「街歩き」を実施、参加者80名。会員も40名、周辺住民との地域コミュニティを築くことが課題となる。

昨年12月から行ったミニ街歩きやミニランチ会が好評。半年前まで知らない者同士が楽しそうで盛況となる。課題はマンション内1,000名のコミュニティの充実。さらに周辺の町会と計3,500名の住民コミュニティの構築。

解決策に歴史家など多彩なゲストを招き新しい知識や情報を学び新鮮な風を入れる。ホームページも設け、会員が自分でページを開く。今後30年間でマンション住民は2万人増えるとのこと。マンションと地域住民とのコミュニティも重要になる。

Q：資金はどうしているのか？

A：会費500円で参加費1回500円。助成で講師謝礼とホームページの開設を予定している。町会は剰余金が豊富なので支援を申し出ている。

Q：町会の反応はどうか？

A：町会の方は、そこが居場所。そこは守るが、少し新住民に支援をと、説得している。

Q：メンバーが3名は大変だと思うが増やせるのか？

A：町会と関係を築くには増やす必要がある。

9 神田をワイン色にして、あたたかな人のつながりのある街にするプロジェクト（一般社団法人神田をワインの街にしようの会）（一般部門・1回目）



神田で知り合ったワイン好きの仲間を中心に「神田・日本橋ワイン祭り」を2014年から毎年10月に開催。下町の良さを発揮して、好きな神田の街をもっと活気のある街にしたい。神田はお祭りが盛んで江戸情緒があるという印象。神田と言っても実はかなり広く、JRの神田駅は綺麗になったがパツとしないままで、イメージとしてもサラリーマンが帰宅途中に飲んで帰るくらいのも。

大手の開発から大手町と日本橋の狭間で取り残された。自分たちで、休日にも来なくなる気楽に立ち寄れる街にしたい。来場者1,000名から1,500名位に盛り上がったが、今年は人数を絞って質を高めたい。

営利を目的にせず、評判を上げればおのずと人が集まるはず。在勤者、飲食店経営者、住民で、コミュニティを作り、ワインを飲む

ことで、交流が深まることを願って活動している。

Q：なぜ、助成金をもらう必要があるのか？

A：チケットをメンバーで売るのは、仕事もあり大変。今年は集客も参加店舗も半分位にして、ワインも料理も質を上げる。3年間の活動で会員も疲れ資金繰りが心配。コミュニティ作りが目的で継続し、仕組みを立て直したい。

Q：仲間やコミュニティを作りたいのなら、街の歴史や文化なども学び、神田とワインのつながりとか、ほかに何か必要ではないか？

A：フェイスブックなどで情報を発信し、イベントだけでなく、継続的に神田への関心と呼び込みたい。ワインを手軽な値段で飲めば、話し合いやすく、人のつながりが生まれる。ワインは一人で飲んでもおいしくない。

10 エンターテインメントを通じた地域振興 (街角ライブ振興会) (一般部門・1回目)



神田に戻ってライブ・バーをやることになった。自身もミュージシャンで、仲間の特に音楽ライブなどに力を入れる飲食店の集客も手伝う。イベントの集客や告知に困った人から、機材や運営などで相談や依頼も受けた。練馬で地域振興の活動をする人たちと組むことになり、自分たちのノウハウを活かして一元化し、希望する方に伝え、役に立てればと企画した。

ライブハウスの相次ぐ閉店や路上ライブの規制もあり、生の音楽やライブ、ダンス、トーク、演劇などを身近に楽しむことが少なくなったので、活用して親しんで欲しいと思った。

千代田区を文化の発信拠点とし、もっと魅力ある街にしたい。地域のイベント情報をまとめ、Web上で伝えていく。毎月ライブをする豚肉料理店がスピーカーを買ったがマイクやケーブルがない、マイク

の使い方がわからないなど、そのアドバイスや機材の橋渡しをする。
Q: ライブイベントの中間的組織なのか? ウェブサイトを作るのが目的なのか?

A: ライブを企画・主催し、支援として機材などの補助、貸出も行ってほしい。50店舗程をウェブに載せて情報の発信もする。

Q: スペースを借りて主催するのか? 情報の一元化は大事だと思うが、既存の店は?

A: 具体的ではないが主催もする。ライブは月1回、毎週1回などさまざま。スペースにより機材も変わるので、店に応じて補助する。

Q: 会費制にすると会員以外は入れない。こぼれた人の情報は? ほかにもサイトはあるか?

A: 会費を取らないと維持費がなく存続できない。サポートのないサイトはいくつかある。金額は決定ではなく、一案として出した。収益は無理のない形である。

11 千代田区を面白くしている街のキーパーソンのインタビュー動画制作プロジェクト (地域のキーパーソン可視化プロジェクトチーム) (一般部門・1回目)



去年、神田に事務所を構え、スタジオとして使うスペースにプロの映像を作る人だけでなく地域の人が集まり、昔の長屋のような空間が生まれた。その人たちがおもしろい。そこで「地域のキーパーソン可視化プロジェクト」を開始。キーパーソンとは地域をおもしろくする人。しかし、バーのマスターとか誰もが会える人ではない。ビルのオーナーなど、普通は見えないが、裏で地域をおもしろくして、地域では知られても外部の人には知られない人を可視化したい。

インターネットのライブ配信が専門なので、You Tube、ニコニコ動画など、そこで起こっていることをリアルタイムでインターネット上で外に拡散する。提供するスタジオで2時間キーパーソンをインタビューし、何台もあるカメラで収録、それを5本作る提案。文字と写真だけでは不十分な、人物の人となり可視化しアーカイ

ブ化する。その動画をテキストに起こし色々な人と共有したい。

Q: キーパーソンを選び、探す方法は?

A: 事務所のある神田司町をベースに発掘する。候補はあるがまだ言えない。若い人を中心に新しい人材を考えている。

Q: キーパーソンの判断は個人的主観か?

A: 主観だが、関係性をベースに判断したい。

Q: ライブ配信のフォーマットは最適か?

A: カメラの所にスタッフのいない無人配信システム。インタビュアーとキーパーソン2人をセットで選び、同じ人がインタビューしない。それで動画配信とアーカイブができる。

Q: 今年5人の動画を撮影し、その先のビジョンは?

A: 5人を3年間撮影すると15人になる。毎回のテキストを冊子にまとめ、その短縮版の総集編を作る。動画の人間図鑑を作る。

12 神保町グルメかるたプロジェクト～神保町周辺活性化デザイン計画 2017～ (共立女子大学 神保町周辺活性化デザインチーム) (一般部門・1回目)



大学の家政学部建築・デザイン学科4年の演習で「神保町周辺活性化デザイン計画」に取り組む。学生が「神保町グルメかるた」のデザイン開発、実現を目指す。神保町には世界一の古書店街たる歴史や文化があり、その風情のある店を絶やしたくない。古くからの個人商店を盛り上げたいと、学生が「かるた」を制作、個人店ならではの味を世代を超えて伝える。具体的に100セット作り、「かるた」には48の個人飲食店を取り上げ、読み込む。これを千代田図書館、小学校に寄贈。神保町で親しまれていた味を記録する。子供たちが町に関心を持つきっかけになればと思う。区役所にも展示する。

スタンプラリーの開催をずらん祭りだと考え、スマートフォンで「かるた」にかざし店のお勧め料理や店主のインタビューなども映像で見られるようにしたい。「かるた」のロゴと絵はご覧のとおり。(実演

Q: 店が多い中、選抜の基準は? 告知は?

A: 基本的には長く続いている店、老舗。ずらん通りの理事長さんと話し、連携を組む。

Q: 100セット全部寄贈か?

A: 寄贈とイベントで販売もできればと思う。ずらん通りの三省堂で販売もしてくれる。

Q: 大学の授業なら大学が出す費用では? 助成がもらえなければ、演習はやめるのか?

A: 毎年ずっとやっていく。アイデアの1つ。

Q: 街のお店を紹介する以外に、地域との関りは? 現時点での地域との活動はあるか?

A: 「かるた」の読み方の文言を小学生に募集し、寄贈後もかるた会を地域の人30名を招いて講評会を2回行った。好評だったが実際に形になる事が難しい。モノとして実現したいと思い応募した。

13 ちよだの魅力を映像によって世界へ紹介する（千代田区内の観光名所、景観資源などを映像作品で紹介し街の魅力を世界へ伝えていく（ちよだロケーションサービスをつくる会）（一般部門・1回目）



歴史的文化的に貴重な千代田の景観資源を映像に収め、公式記録として未来に残す。それを国外、国内に情報発信する。大切な文化資産を意外と認識していない人が多く、これを再認識してもらおう。それが千代田の文化を活性化させる一助になればと思う。

単なる撮影のためのロケーションではなく、色々な場所のポイントを一般の人に知って頂く。去年、「千代田の魅力シリーズ」という動画を撮影、区の施設で映像をエンドレスに流したり、公式映像としてインターネットでも流された。さらに実績を積み、この活動を続けていきたい。マンパワーが非常に重要でスタッフを維持する資金援助を。映像の記録保存 PR は言語を超え国際的。技術は日進月歩で最新の技術を取り入れ持続したい。

Q：ロケ地に謝礼とは、取材費としてか？

A：様々で、必要ない場合もあり、謝礼をしてでもお願いすることもある。

Q：すでに映像がアップされている(URL など)が、反響はどうか？

A：活動のおかげで地域の方と親しくなり感想を話してくれ、大変好評でうれしい。

Q：もうプロとしてやられているのでは？

A：仕事は地元の神保町で編集出版をしている。ライフワークで10年、映像を撮っている。仲間も手弁当で利益は出ていない。

Q：映像を観たがクレジットが変わったか？

A：去年まではその形。神保町に限らず、もっと千代田区全体でと思い変えた。

Q：観て頂くための予算がないが、宣伝は？

A：インターネットでホームページを作り、発信していく予定。仕事柄、印刷物もボランティア精神で作るつもりでいる。

14 環境保全と日本文化の伝承。地域コミュニティの構築（フラワーサークル 2000）（一般部門・1回目）



創設以来17年、都心の環境保全、再生の活動をしてきた。区道街路樹の植栽柵に花などを植え、住環境と交通環境の快適さと安全を図る。過去に開いたリサイクル教室を、エブリワンズスクール(子供から大人まで自由に参加)として再開。茶道、パソコン、料理、アレルギーの子供たちのために手作り味噌や安全なソーセージ作り、刺繍、語学、植栽などの教室を開く。お正月飾りのクラフトやアクセサリ制作修理、アロマ会、着物着付け教室、シルバー世代の健康体操も行う。

また日本文化を通して大使館との文化交流会なども予定。寄付されたあじさいなどを道に植え、緑被率、緑視率を高め、街の空気清浄化にもなる。オリンピックに向けて国際的交流を図り、日々の暮らしを豊かにする活動を今後も若い人としていきたい。

Q：多くの教室を開催しているが、材料費はどうなっているのか？

A：各自の持ち込み。この会は、若い世代に譲って、新しい形でやろうと応募。国から助成金ももらっていたが、ゼロから始めようとした。可能なら若い人にホームページも立ち上げてもらいたい。年寄り(80代)がいつまでできるかわからないので。

Q：既に実績があり国より450万も援助されている。若い人に引き継いでもらうためにか？

A：フリーマーケットが道でできなくなり、四谷駅前の交番スペースでやっていた。それもできなくなり、朝7時から並んで場所を借りなければならない。助成を受ければ、場所が借りられると言われた。

現在も教室は続いているが謝礼金で運営。かつては、大妻女子大や番町小学校も参加していた。なんとか若い世代につなげたい。

15 街と人とステージをつなぐお手伝い～人の暮らしを豊かにする（THEATRE CONCIERGE）（一般部門・1回目）



日本ミュージカル学会で出会った3人が、ミュージカル文化の発展と観客の裾野を広げたいと設立。シアター・コンシェルジュは観劇サポート、カフェ公演、ミュージカルの解説教室など、舞台芸術の感動体験のお手伝いをする。公演情報や舞台の魅力を伝え、劇場の街で働く人にスポットを当てた「日比谷日和」の発行、読んだ人が舞台を観たくなる街の人目線の情報誌を目指す。

さらに作品や俳優を見る力、感じる力を高める勉強会を開催。多岐にわたる舞台芸術の理解、その真のあり方を提案する。交流会では観劇ファンが気軽に語り合える場を提供、暮らしの中に感動を伝える。忙しい大人へ「朝コンサート」を既存の団体とコラボして実施。テーマ型コンサートなどのカフェ公演を開き、音楽のある日常から生活を豊かにする。

観劇サポートは子育て中の夫婦へ託児所サービス・パパママサポート。活動により小劇場やマイナーな作品にも足を運ぶ人が増え、芸術文化の裾野を広げる。劇場の街千代田区から日本の文化の向上を進めていきたい。

Q：メインに使う活動拠点はどこか？

A：丸の内の国際フォーラムの地下。また日比谷のグッドデザインのお店。

Q：この活動は、千代田区の住民にはどういうメリット、意味があるのか？

A：千代田区日比谷には劇場が集まっているがあまり知られていない。丸の内などに住民は少ないので、勉強会に来た人が継続的にコミュニティを作り、カフェ公演の運営にも関わる。

Q：地元の人とそのグッドデザインのお店に足を運ぶか？ 住民を集められるのか？また、朝コンサートの演奏者はいるか？

A：まちサポの助成グループと協働でやりたい。

16 千代田・神田デジタルアーカイブの構築 (一般社団法人協働プラットフォーム) (一般部門・1回目)



元々は被災地支援のプロボノ(特殊な専門性を持つボランティア)団体。普段から趣味や子供たちで知り合い、地域の課題解決力が高まり、防災・防犯力も増す。神田須田町の海老原商店で、「かんだしちゆうさんぎよ神田市中山居の会」を月に1回開催。軽食とドリンク付きで1,000円の参加費。これまで5回開き、初回は海老原さんから、なぜ古民家を改築してフリースペースにしたかを話して頂いた。

担当した建築家の看板建築を大事にした思い、慶応大学名誉教授の金安先生が昔の俳句や川柳に詠まれた神田や鉄道を起点にした歴史。ライオン株式会社創業者のお葬式が日本最古の映像として神田を映しているというお話。参加者の地域の人の思い出話には、神田への思いが籠っていた。

それらをオーラル・ヒストリーとして証言と映像を合わせて保

存したいという声が出た。我々には無償でできるオープンソースもあり提供可能。初回は補助を受け、その後は会費でやっていく。

Q: 助成終了後のサーバー管理費は?

A: 年会費を5,000円で会員を100人集める、または企業に働きかける。いずれ地域で運営できることが、防災と同じで必要。地元の方と次年度についても相談していく。

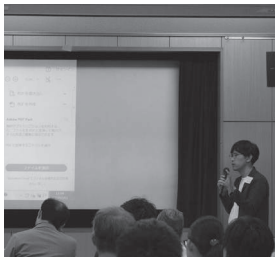
Q: 誰がどういう形で地域に発信するのか?

A: 我々のコンテンツのまとめ方のノウハウを地元の人に。最初は一緒にやり、徐々に手渡していく。それでないとは続かない。

Q: 実際の活動はどこで、どうやるのか?

A: 海老原商店で、基本はインターネットのパソコンのネットワークでメールなどを使う。

17 「カンダによる、カンダのための、カイダンミュージアム」神田エリアにフォーカスした小規模ミュージアム (KANDA MUSEUM) (一般部門・1回目)



神田で建築設計事務所をしている。昨年「千代田ネコビルLAB」として普請部門に応募、中間発表時まで活動したが、物件が見つからず活動断念。再考した結果、神田地域のミュージアムを計画する。神田の人や活動がおもしろく、神田エリアで地域に貢献できる場づくりをと思う。入居中のシェアオフィスビルの地下倉庫をオーナーに交渉、許可を得てDIYで改装。階段下の2坪程だが地域のハブとなる近所ミュージアムを考えた。

6月12日にオープン、最初の企画として「SHOP100 神田店“閉店”展」を開催。ある意味でライフラインともいえる地域の100円ショップが閉店し、マンションに建て変わったことに注目した。内神田西口商店街の100円ショップ「SHOP100」のご協力による。今後も年に4回の自主企画を行いたい。まちサポの助成グループの

発表の場としても、随時持ち込み企画の展示も一緒に継続し、地域に開かれた場となればと思っている。

Q: 一緒にやるメンバーはいるのか?

A: 協働者を募り、一緒にやる。そこで参加団体の物品販売も考えている。

Q: 物の販売で営利を目的にするのか?

A: 営利目的ではないが、もし収益を得れば、運営費に充てることや、ミュージアム・グッズの販売なども考えたい。

Q: 応募用紙にある「模型製作」とは?

A: 神田の街を可視化する模型を依頼するので、製作のアルバイトの人に時給を払う。

Q: キュレーターへの謝礼とは? また、ミュージアムは常設ではないのか? 用途は?

A: キュレーターを募集して一緒にやっていきたい。常設展示ではないが、地域に関連付けた運営をする。

18 千代田のみなさん!一緒に新しいつながりや友達作りをしませんか? 私たちは「ちよだ」で住む人、働く人が、楽しく繋がるキッカケ作りをお手伝い致します(ちよとも)(はじめて部門)



千代田に友達100人作ろうという目的で、千代田区社会福祉協議会がコアとなりスタート。今年の2月、3月、4月と3回「ちよとも交流会」を実施。各28名、25名、23名の参加者。4回目以降は有志で推進しようと考え、運営を引き継ぎ、9月から実施予定。

住んでいるエリアに応じての活動ではなく、境をなくしてオール千代田でやるのが特色。

例えば、お祭りなどで俎橋で区切りがある感じを受ける。また町会に参加か否か、旧住民か新住民かなどの壁を感じる。現実には、町会にも若手は入りやすく、会員が減っている。

そこで両者の橋渡しをしたいと考えた。顔の見える関係を築き、それが街全体の防犯、防災にも役立つと思う。町内会の掲示板に多数のチラシを貼らして頂いたのを見てほしい。参加費は500円。

会から出るアイデアを活かし、今までにない地域活動を創出したい。

Q: 毎回どのようなテーマで話したのか?

A: 災害時のサポートや子育て支援などの提案。それらをまとめ、いずれ社会福祉協議会などに投げかけていく。

Q: リピーターはいるのか、また、今後の可能性は具体的にどうか?

A: リピーターは半数程、グループごとのテーマの担い手になり、牽引してほしいと思っている。子供から大人まで、在勤、在住を含めて多世代の交流を推進していきたい。

19 三崎町物語～笑顔で繋ぐ地域の輪～

(三崎町 SMILE プロジェクト) (はじめて部門)



日本大学経済学部の学生で、三崎町にキャンパスがある。三崎町の興味深い歴史があるのにあまり学生には知られていない。旧三菱財閥に土地が払い下げられて開発されたのが始まりとか。そういうことも皆に知ってほしいと思った。またビル型キャンパスは三崎町にもあるが、地域とのつながりは薄い。学生ならではの視点で三崎町の魅力を紹介し、学生は歴史を知り、地域の人は新たな町の一面を再発見できると考えた。

まず昔から三崎町に住んでいる方に話を聴き、昔と今を比較した町の地図を作る。話してくれた人の笑顔の写真を撮影し、それも掲載するフリーペーパーを作り、三崎町内で配布する。地域の人、学生、一般の人に気軽に手に取ってもらい、地域と学生の互いの理解とつながりも生まれる。

Q：来年は、一般部門で応募するのか？また、「学生らしい視点」とは具体的に何か？

A：まず今年一年活動して、学生同士のつながりができたら、来年は、それをもとにしてイベントを開きたい。学生のよく行く飲食店などを紹介する。ほかにも考えてみる。

Q：来年の1月1日から、三崎町は「神田三崎町」と町名を変更するが、どう考えるか？

A：そんなことも地域の方のご意見など伺って頂ければよいかと思う。

Q：お願いとして、フリーペーパーができれば、地域の方にどこかに集まって頂き、それを発表するようなこともすると、開かれた会で、活動も膨らむのではないかと。

Q：学生ならではの困っていることも議論し、提案することも、学生ならではの。

A：ご提案ありがとうございます。頑張りますので、よろしく願います。

20 秋葉原に残る昭和20年代の建造物を改修し、千代田区のブランドである「猫」をテーマにしたコミュニティカフェをひらく。子供からシニアまでが楽しめる集いの場 (秋葉原・旧旅館【東館】内 ちよだニャンとなるCafe) (普請部門)



旧旅館「東館」は秋葉原、中央通りを一步入った所にある古い旅館。レトロな外観にひかれて外国人観光客が訪ねて来たり、ネットで探した人にノスタルジックな雰囲気が良いと絶賛も。戦後の昭和20年代に建てられた木造モルタル造り50坪程の建物。この1階の一部40㎡を改修し、千代田のブランド「猫」をテーマにしたコミュニティカフェを開き、子供からシニアまで楽しむ憩いの場を造る。

内部には、網代天井、格子窓、大黒柱など、今では貴重な建材がある。階段を上がると、夏目漱石が何か書いているのでは、と錯覚に陥る。だが20数年前に廃業、現在は元経営者の一人娘が居住し、このプロジェクトに賛同。ご家族との思い出の場所を大切に新たな街の拠点に生まれ変わるという提案。

なぜ「猫」かといえば、千代田区は行政とボランティアの取り組

みで、飼い主のいない猫の殺処分ゼロを全国に先駆け2011年に実現し現在も維持。そのボランティア精神を受け継いでいる。猫をテーマに、見て楽しみ情報の発信もでき、地域の活性化につながる。

ただし、猫カフェではないので生きた猫はいない。猫のテーマのお話会などは計画中。常設展示で子供たちの絵を飾る。秋葉原の新しいスポットとして外来者にも開かれている。

Q：建物の耐火性、耐震性、安全性は？

A：梁や柱の再建、補強をする。元旅館なので法的にも建築確認について問題ない。

Q：支出額の記載はあるが、収入は？

A：ワークショップで大人は参加費を払う。子供は無料。常設展示に近く、週5日営業でスペースギャラリーとしても使う。

Q：通用口、出入り口は、裏口？表口か？

A：オープン後は、住居は裏口、カフェは表口と分けて使う。

21 千代田区における助成金応募申請案件：予約都市「NET-STAY KIT (ネットステイキット)」の企画概要 (明日の幸せの仕組み創りとお約束) (NET-STAY KIT - THE Za) (普請部門)



父が神保町で印刷会社を営み住居も兼ねたビルで活版印刷をやっていた。祖父の死後、不動産整理を行い、その時出会った加藤氏に教えられ不動産のリサイクルとして「NET-STAY KIT」(分散型小規模ターミナル基地の設備)を立ち上げた。プログラマー川村氏がシステム作成を担う。

長年のノウハウを活かし、住めるスタジオ「NET-STAY KIT」をフルに活用したい。我々の組版のシステム化、データベースの情報を無償でも貸出、ノウハウの教育もする。ビルのリノベーションで所有者も中の労働者も収益を上げ、街を活性化させる。

今まで共立女子高校の卒業文集や国の予算書、岩波書店の組版などのシステム化を進める。川村氏開発のネットワーク・システムTHE Zaを活用し、町内のサイトをはじめ、印刷関係、伝統工芸、

計算書などのシステムを作る。予約もできる大規模なサイトの運用が可能。現在は業態変革でリノベーションに取り組む。

このスマートビルの1階に添田氏デザイン設計のライブハウスと楽屋。ジャズレストランで演奏もある。将来は簡易宿泊所にする計画。2階は設備の中核となるモデル展示場、スタジオを造り、情報、アートの発信源として参加者を募る。実際に見てアイデアを練る場所に利用してほしい。

Q：システム自体は、どこでもできるのか？

A：できるが、提案は千代田区にももちろん特化している。地域の飲食店の要望に応える。

Q：助成を受けて作りたい場所はどこか？

A：2階の展示場のスペース。オープンスペースとして改築したい。一部に光を取り入れたモジュール(規格化された建築材、装置・機械・システムを構成する部分)スペースにして印刷機も置く。

中島会長

■ オクトパシー

千代田区と関係する古い映像資料の収集、上映によって、まちの人々同士の共有体験の場を生み出そうという試みである。すでに昨年度から区内諸施設等にて映像上映を試みてきており、地域のまちづくりとの接点が生み出されつつある点が評価される。映像資料の収集のように地域のまちづくりの基盤を生み出す活動を区民自らが展開することも千代田区ならではであろう。さらなる活動の展開に期待したい。

■ KANDA MUSEUM

昨年度は残念ながら途中で活動を断念せざるを得なかったグループによる、神田に小さなミュージアムを設置・運営するという新しいアイデアでの再挑戦である。1階階段下部分というニッチな空間をまちづくりの資源として発見し、地域のコミュニケー

ションの場に転換してこうという試みは大変面白い。今後は神田というまちと深く結びついた運営が期待される。

■ 秋葉原・旧旅館【東館】内ちよだニャンとなる Cafe

秋葉原の一角にあるかつて旅館として使われていた建物をコミュニティに開かれた場として再生させる取り組みである。再生のエンジンとして設定された「猫」というテーマは親しみやすく、グループの実績からして実現性も高いと評価される。この建物再生を通じて、まちの記憶を掘り起こし、今後のまちのありかたに示唆を与えていけるとな



およいと思われる。

奥村副会長

■ PCN 秋葉原 ASSEMBLAGE

今の子どもたちは生まれたときから PC にふれて育ってきた世代であり、身近にあるのが当たり前。子どもたちにゲームではなくプログラミング（創造）の楽しさを伝え、地域住民と喜びを共有する体験に結びつけていることが素晴らしいと思いました。将来、まちづくりが大好きになる子どもたちが増えてくるのが楽しみです。また、秋葉原が流通の拠点であり電気部品のパーツ販売のメッカだという歴史を彷彿とさせ、地域のプライドの再生にも一役買っているところが素敵です。

■ PC 街歩きサロン企画委員会

マンション住民は周辺の地域住民と疎遠になりがちです。街へ出て地域の歴史や魅力を知ることは街への愛着を抱ききかけとなります。まずは好奇心が大切ですね。さらに地域の方々からお話をお聞きしたり、お祭などの年中行事に参加するようになると徐々に地元意識が醸成されると思います。ゆくゆくは一緒にイベントを企画し一体となって活動するようになると楽しさ倍増です

ね。活動のイメージを膨らますために、企画運営の仲間づくりがポイントと感じました。

■ NET-STAY KIT-THE Za

予約サイトのプログラムと建築の設計システムがリンクするのは、時代性を反映して興味深く感じました。また、再開発を通じて防災や緑地環境が充実するメリットと地域の歴史やコミュニティが失われるというデメリット、その影響は極めて大きいと考えます。その中で一つの建物が存続するため提案と解釈いたしました。なぜ、存続させることが尊いのか、建物2階のサロンによって地域コミュニティの再生が期待できるという点から、掘り下げた魅力的なお話をお聞きしたいと思いました。



片岡委員

■ 文人通りギャラリーカフェ

今回の審査で7人中6票を獲得し、助成金40万円申請で39万円とほぼ満額の助成を受ける事になりました。1回目も審査員満票を獲得し助成金額も満額でした。それだけ期待が大きいという事でしょう。前年度の反省をふまえて今年度は、各回で全く違うテーマを設定して会を開催するとの事、大変楽しみです。申請2回の評価基準では初年度に行われた活動の発展性・持続性を求められています。2回目も頑張り、3回目にチャレンジして下さい。期待しています。

■ 三崎町SMILEプロジェクト

今回はじめて部門に応募頂いたグループは2グループでどちらのグループにも助成が決定されました。その一つが三崎町SMILEプロジェクトさんです。申請グループで神田方面のグループが圧倒的に多い中、三崎町からの申請は新鮮に感じました。その三崎町町会を地元日大の学生さんの視点で魅力を発見しフリー

ペーパーで町会の方に発信するという企画です。どのような発見があるか楽しみです。

■ ちよとも

はじめて部門応募のグループとしては活動メンバーの職業・年齢など多彩で充実し安定感を感じます。それも千代田区社会福祉協議会が主催した多世代交流会で活動してきたメンバーの有志が集まったというお話を聞いて納得しました。活動内容としては区民と区で働く人たちのつながりを生む場として多世代交流の「ワールドカフェ」を催して行く事だそうです。その場でつながった方達が集まり、新しくまちづくりサポートを利用して下さる事を願っています。



後藤委員

■東京神田神保町映画祭実行委員会

今回が3回目というグループだけあってプレゼンも安定感があつた。初年度は5万円の助成金額という厳しいスタートだったが2年目は満額、そして今年もほぼ満額の助成金だった。「神保町映画祭」に対する認知度も年々上がってきているように思う。年間活動も綿密に計画されて、スタッフのまとまりの良さを感じさせる。地域との交流も積極的に行なっておりサポート卒業後の活躍が楽しみなグループだ。

■神田プロレス

神田明神とプロレス、誰が想像できただろう。その奇想天外な企画を実現させてしまう行動力抜群のグループだ。「入場無料」「子供向け」という絶対に譲れない信念をもっている。卒業後にどういう手法で継続していくのか、地域のイベントにどういう形で参加できるのか、問題点は多いと思うが継続してこそ認知度は上が

るし活動の自由度も増すだろう。子供同伴のプレゼンは微笑ましく、好感度アップにつながった。

■地域のキーパーソン可視化プロジェクトチーム

街にはその地域を盛り上げている人物がいる。しかし外側からは、そのキーパーソンの存在にすら気付かない。応募理由には「街を面白くしている人物にインタビューして動画をライブ配信して千代田区の魅力を広く発信する」とある。実施スケジュールにはエリアごとに5人を選定するとあるが、どういった話を聞き出すことができるのか、同じような話題にならないようにするテクニックが要求されるだろう。応募1回目でどこまで成果を出すことができるか発表会が楽しみだ。



朝比奈委員

■グリーンネイチャーフード千代田を目指す会

Chee's、ネイチャーウォーク、環境ダイアログは回を重ね、それぞれに気づきが生まれ手応えを感じました。しかし、目的や目標設定のあいまいさは否めません。これら3つの「しかけ」はこれ自体の実施が最終目標ではないはず。みなさんが共有できる問題解決に向けて、3つの「しかけ」の力を発揮できるといいと思いました。必ずしも3つを連動させる必要はありませんが、ネイチャーウォークで現場を再発見後、ダイアログの場で議論を深め提案づくり、そしてChee'sで広く発信という具合に、ひとつの課題を目標に設定することも方法だと思います。惜しくも助成対象とはなりませんでしたが、みなさんのチームワークには、大いに期待しています。

■神田を面白がる会

審査会で見ていただいたリノベーションの光景は、とてもわくわくしました。手で作ること、一緒に汗を流す共同作業の体験は、人同士だけでなく、その場所への愛着を生み出すことに有用ですね。今後ぜひ意識して、手作りのプロセスを仕組んでいただきたいと思います、その手腕に期待しています。また開設後、みんなの居場所としていくためには、「その場所にいる人」が重

要です。その人の役割や誰が担うのか、どんなふるまいが大切かなど、企画者だけでなく、この場所に愛着をもった人たちと一緒に考えていけるといいと思いました。

■ THEATRE CONCIERGE

「ミュージカルが大好き」というみなさんの立ち位置が面白いと思いました。観劇する人の目線から欲しい情報や発信のしかた、また場のありようを理解できることはみなさんの強みです。将来、活動が展開していく中で、企業や自治体に対して提案したり、パートナーとして一緒に事業に取り組むこともあるでしょう。その際には、ひとりの観劇者としての視点で集めた情報や活動のノウハウは財産になるはず。活動の試行錯誤の結果はうまくいったことも失敗したことも、ぜひ記録にしておいてください。ミュージカルが好きだからという気持ちを大切に、活動をすすめてください。

イベントという非日常から日常へ、居場所、拠点、同じ会場で、会場や日時、定例化、テーマで集まるコミュニティ、その先を展望する一年でもあってほしい。



堀田委員

■一般社団法人神田をワインの街にしようの会

再開発の街に囲まれて、男性サラリーマンが一杯飲んで帰る街神田。そんなイメージが先行する神田を、ワイン好きとはいえ、神田近隣に在勤されるメンバーが、夜間や休日に活動し、ワインの持つ魅力で、女性・若者も集まる暖かいコミュニティを生み出す街づくりに努めている点が助成対象になったと思います。ワイン色になった神田を見るのが楽しみです。

■一般社団法人協働プラットフォーム

本グループは、神田の貴重な資料等に思い出等を組み入れることでオーラルヒストリーとして後世に残してゆこうとしています。貴重な資料等は地域の住民がなぜ大切にしてきたか、どんな思い出があるのかが一緒に残されてこそ価値があり、それではな

れば単なる物に将来なってしまうと思います。本グループの活動は、千代田区に関係する後世の人々に受け継ぎ伝えていく価値を教え続けてくれると思います。

■フラワーサークル 2000

街の快適性向上を図ることから始まった17年の地域活動実績のあるグループで、メンバーの中心がシニア世代の方達である中、10代・20代の若いメンバーの参加があります。若い世代の活躍がサポート事業の目的である、「将来にわたる住みよい環境づくり」につながると思います。最後に今回は、多くの事業を計画されていましたが、的を絞った応募のほうが理解を得られやすいのではないかと考えられました。



■街角ライブ振興会

音楽イベントのプロの経験に裏打ちされた、地域をライブイベントのまちにしたいという提案で熱意が伝わりました。飲食店等に機器のセッティングなど具体的支援を行い、一元的なイベント情報の発信などで、音楽を通じた地域のブランディング・活性化をめざすとのこと。市民活動というより起業的な面があり採用には至りませんでした。地域のライブ文化盛り上げに、活躍を期待しています。

■共立女子大学 神保町周辺活性化デザインチーム

以前から熱心に取り組まれている「神保町活性化デザインプロジェクト」の一環で、チェーンでない個人飲食店を、かるとA R動画で発信する「神保町グルメかるとプロジェクト」。授業の面があり残念な結果でしたが、学生さんの提案は進歩がめざましく、デザインも斬新で洗練され完成度も高いと評判です。今後も

地域との連携をさらに深め、デザインの力を発揮していただければうれしいです。

■ちよだロケーションサービスをつくる会

みんなが愛着を持つ地元の映像のアーカイブ化と、ロケ地データベース構築、ロケツリズムを展開という大変意欲的な提案で、高く評価されました。地元に着した映像配信の実績による地元とのつながりが大きな強みで、今後の展開に夢が膨らみます。変貌が著しい千代田区では、歴史的・文化的に貴重な資源を映像で残し発信することは本当に重要で、長く継続できる取組みを望みます。



【総評】 審査会会長 中島 直人

皆さん、本当に今日は丸一日、お疲れさまでした。朝9時から、ただ今、すでに夕方5時半を過ぎておりますが、貴重な時間を費やして、熱心な発表と議論、審査をして頂きありがとうございました。

私が思いますに、助成をもらえた、もらえなかったという審査の結果だけでなく、この審査会の最中、いろんなチームの発表はもちろんですが、その休憩時間の間にも、すでに皆さんそれぞれに、積極的に互いに働きかけられて、いろんな所で、様々な横のつながりが生まれているのを感じました。

だとしたら、皆さんにとっても、最後の結論としての助成金だけでなく、大変貴重な体験をされたと思います。それは私にとってもうれしいことだと思っています。

今回、結果的に助成の対象となったのは、一般部門の11グループと、はじめて部門と普請部門を入れて合計14グループでしたが、予想より多い21グループという応募があり、それらのすべてが千代田の貴重な財産であると確信しています。

また、昨年から、ウェブ・サイトをかなり充実させていまして、情報をどんどん発信しています。この審査会場に来られない方にも、「まちづくり」には、こんなアイデアがあるのだ、という

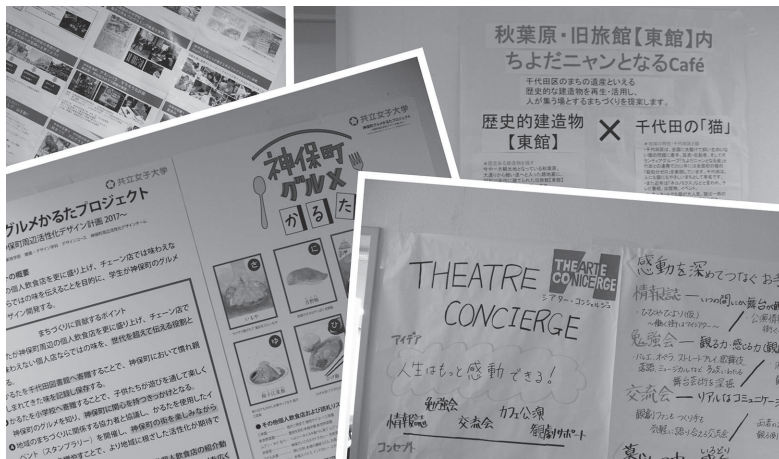
試みや努力をしているのか、具体的に発信している。そんな中で、千代田の今ある活動の姿を、知らない地域にも広がっていることになり。皆さんの活動が、それぞれの地域にとってはもちろんですが、千代田区全体に結び付く形になり、活性化になっていると思います。

言ってみれば、皆さんの活動を千代田区民全員が見ている、ということでしょうか。ぜひ、そういう気概と誇りを持って、きらきら輝く活動をして頂きたいと思っています。

もし、来年の公開審査会の応募数が2倍になったとしたら、それは、皆さんの成果だと言えましょう。それぐらいの気持ちで活動して頂きたいと思っています。

もちろん、倍になったりしたら、実は予算的にも厳しく、選ぶのにも困るのですが。

とにかく、1年間、頑張りましょう。これから、11月の中間成果発表会、来春の活動成果報告会とありますので、お会いするのを楽しみにしております。



第17回千代田区まちづくりサポート審査評

部門	回数	団体名	一次審査			二次審査	申請額 (万円)	助成額 (万円)
			★活動内容を支持し、今回のサポート助成が必要だと考える。	■活動内容についてもう少し話を聞き、今回のサポート助成が必要か判断したい。	▲意義ある活動内容だが、サポート助成の趣旨にはなじみにくいと考える。	●活動内容を支持する		
一般	3	東京神田神保町映画祭実行委員会	★★★★★★			●●●●●●	50	45
一般	2	文人通りギャラリーカフェ	★★★★★★			●●●●●●	40	39
一般	2	グリーンネイバーフッド千代田を目指す会	★★★★★	■		●●●●●●	46.8	0
一般	2	神田プロレス	★★★★★★			●●●●●●	50	45
一般	2	PCN秋葉原 ASSEMBLAGE	★★★★★★			●●●●●●	50	49
一般	2	神田を面白がる会	★★	■		●●●●●●	50	34
一般	1	オクトパシー	★	■		●●●●●●	48	0
一般	1	PC街歩きサロン 企画委員会	★★★	■		●●●●●●	50	0
一般	1	一般社団法人神田をワインの街にしよるの会		■		●●●●●●	50	42
一般	1	街角ライブ振興会		■		●●●●●●	50	0
一般	1	地域のキーパーソン可視化プロジェクトチーム		■		●●●●●●	50	40
一般	1	共立女子大学 神保町周辺活性化デザインチーム		■	▲▲	●●●●●●	50	0
一般	1	ちよだロケーションサービスをつくる会	★★	■		●●●●●●	50	37
一般	1	フラワーサークル2000		■		●●●●●●	40.8	0
一般	1	THEATRE CONCIERGE	★★★★★★	■		●●●●●●	18	18
一般	1	一般社団法人協働プラットフォーム	★	■		●●●●●●	50	28
一般	1	KANDA MUSEUM	★★★	■		●●●●●●	41	23
普請	1	秋葉原・旧旅館【東館】内ちよだニャンとなるCafé				●●●●●●	10	10
普請	1	NET-STAY KIT-THE Za				●●●●●●	10	0
はじめて	1	ちよとも		書類選考			5	5
はじめて	1	三崎町 SMILE プロジェクト		書類選考			5	5

■まちづくり事業推進のため、財団の趣旨に賛同し、ご支援くださる賛助会員を募集しています。

公益財団法人まちみらい千代田 賛助会員一覧 (敬称略) 平成 29 年 8 月現在

【法人会員】			【個人会員】			
業種	会員名	業種	会員名			
金融	興産信用金庫	その他	(株) i-tec24	飯塚 克治		
	西武信用金庫 神田支店		(株) イサミヤ	池 俊郎		
	(株) 東京都民銀行 神田支店		ウェブリオ (株)	加藤 武夫		
	みずほ信託銀行 (株)		(有) エイアイ企画	小林 誠		
建築土木	(株) エコ・24		大塚製菓 (株) 東京支店	瀬川 昌輝		
	(株) 久保工		(株) 弘周舎	立山 光昭		
	(株) 竹中工務店		ゴージャージャパン (株)	戸田 豊重		
	(株) ナカノフドー建設		(株) こどもの館	堀部 剛正		
建設設計	(株) 楠山設計		(株) コンベンションリンケージ	三浦 博子		
	(一社) 改修設計センター		鈴新 (株)	宮園 耕二		
	(株) 翔設計		(株) すららネット	三輪 瑛子		
	(一社) 東京都建築士事務所協会千代田支部		瀬味証券印刷 (株)	他6名		
緑花・環境	日産緑化 (株)		(株) TALO 都市企画			
	(株) 日昇緑化研究所		(一社) 千代田区観光協会			
広告代理	(株) フィレール	東洋美術印刷 (株)				
	不動産	エヌティティ都市開発 (株)	(株) 巴商会			
協永ソフトエンジニアリング (株)		(株) 日精ピーアール				
住友不動産 (株)		日新火災海上保険株式会社東京事業部 東京西支店				
天翔ビルディング (株)		ノーラーエンジニアリング (株)				
プラットフォームサービス (株)		(株) バイオレンジャーズ				
三井不動産 (株)		ハネクトーン早川 (株)				
三菱地所 (株)		(株) FEA				
安田不動産 (株)		(株) フォトロソ				
コンサルタント	東京建物 (株)	富士ゼロックス (株)				
	NPO 法人 都市住宅とまちづくり研究会	フジマイクロ (株)				
IT 関連	(株) パシフィック総合開発研究所	(一社) マンション管理組合支援センター				
	(株) メディアリンク	(株) ムレココミュニケーションズ				
		ヨシモトポール (株)				
		(株) リブレッジ				
		(株) ワンスイン 他1社				

(法人:59個人:17計:76)